

今後の主な論点

1. 奨学金制度（修学資金貸与制度）について

返済免除とする要件

一定の要件の下、県内で薬剤師として働いた場合に貸与した奨学金の返済を免除する場合、卒業後の就業先などの要件をどのように設定すべきか。

卒後プログラム

地域医療介護総合確保基金を返済免除に活用する場合、医療機関での従事にあたり県でプログラムを策定する必要がある。どのようなプログラムにすべきか。

奨学金の金額

地域卒生が経済的に安定して勉学に集中できる環境を提供する観点に加え、確実に地域への定着を図るためには、適切な奨学金の金額をどのように考えるか。

2. その他の薬剤師確保の取組みについて

- ・ 1についての議論も踏まえつつ、夏以降に本格的に議論することとしたい。

（論点の例）

- 地域卒卒業生が輩出されるまでの間の薬剤師確保の施策について
- 薬剤師・薬学部を志す中高生を増やすための取組みの充実について